



総理選 派閥の動き活発

河野氏 派閥と対決演出

自民党 総裁選



石破氏・小泉氏と連携

締め付け批判 安倍氏ら重鎮反発も

自民党総裁選に出馬しない河野太郎行政改革担当相が、国民的人気の高い石破茂元幹事長や小泉進次郎前相との連携を強めてきた。各派閥の締め付けを批判する「河野一新」を印象づけ、中野の取りこぼしを懸念する河野氏に、安倍晋三元首相ら重鎮の反発が起きている。河野氏は、この動きを「河野一新」を印象づけ、中野の取りこぼしを懸念する河野氏に、安倍晋三元首相ら重鎮の反発が起きている。

自民党総裁選出馬予定3氏への主な支持議員

河野太郎 (行政改革担当相)	岸田文雄 (総務大臣)	高市早苗 (前総務相)
小泉進次郎 (元幹事長)	甘利明 (元幹事長)	安倍晋三 (元首相)
井上信治 (元幹事)	中谷元 (元幹事)	古賀忠生 (元幹事)
万博博 (元幹事)	元防衛相 (岩田剛典)	元防衛相 (岩田剛典)
平野明 (元幹事)	根本浩 (元幹事)	水原誠 (元幹事)
元六省庁副大臣 (石破茂)	元防衛相 (岸田文雄)	元防衛相 (岸田文雄)

派内で求心力低下

石破氏不出馬 推薦人確保も難航

自民党の石破茂元幹事長が総裁選に出馬しないことが決まると、派内では求心力が低下している。石破氏の出馬しないことが決まると、派内では求心力が低下している。石破氏の出馬しないことが決まると、派内では求心力が低下している。

道内票 3陣営が争奪戦

岸田氏 広島県連が支持要請

河野氏 道議と意見交換予定

高市氏 安倍人脈で浸透図る

過去の自民党総裁選の道内党員・党友票の動向

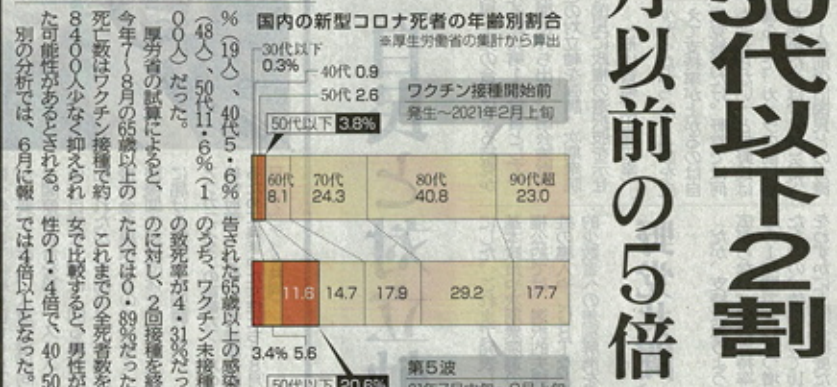
総裁選	党員・党友の投票を要請	無投票	党員・党友の意向調査を実施
2007年	1. 町村信孝 38.1% 2. 安倍晋三 34.4% 3. 石破茂 20.5% 4. 石原伸晃 6.0% 5. 林芳正 9.9%		1. 安倍晋三 54.3% 2. 石破茂 45.5%
15年			1. 菅義偉 55.9% 2. 石破茂 36.5% 3. 岸田文雄 7.3%

※投票率 50%以上

コロナ死者 50代以下2割

第5波 2月以前の5倍

新型コロナウイルス流行「第5波」で感染して死亡した人のうち50代以下の割合は20.6%で、ワクチン接種が始まった2月以前の3.8%と比べて5倍以上になったことが厚生労働省の集計で分かった。30代以下の死者は29人になり、同年代の累積死者数は30人の半近くを第5波だけで占めた。



道内は9%

道内では「第5波」流行時の死者の年代別割合で、4人のうち、50代以下は9.4%と、2月以前の2.1%と比べて約5倍となり、全国と同様に、相対的に現代世代の割合が増える傾向がみられた。

緊急事態宣言延長

松野市長メッセージ発信 予防対策に協力を

【岩見沢】松野市長が「緊急事態宣言」を呼びかけている。宣言が30日まで延長されたことを受け、市ホームページ等を通じて市民にメッセージを発信し、外出機会を半分に減らしたり、マスク着用などの予防対策に理解と協力を求める。また、8月23日から行っている公共施設の利用制限は9月30日まで継続して実施します。また、「二理解」と協力をお願いします。

全国の100歳以上の高齢者が、「老人の日」の15日時点で、前年より6060人多い8万6510人となり、1971年から51年連続で過去最多を更新したと発表した。道内は前年より633人多い4160人で、記録が残る2001年以降で最多。都道府県別で東京、神奈川、大阪次いで4番目に多かった。